

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：市負担金額	指標の求め方：市負担金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：診療率	指標の求め方：在宅当番医日数/休日数

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合計 合計
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 2,209	2,209	2,209		2,209	2,209	2,209		2,209	2,209	2,209	2,209		
		実績値 2,247	2,296												
指標	成果指標 1 (単位/%)	計画値 100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
		実績値 100	100												
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 市負担金額及び在宅当番医日数とも計画値とほぼ同数であり、医師会の集約により市立病院と市内開業医が分担し、一次救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 医師数割の変動により市負担金が計画値を上回っているが、医師会の集約により市立病院と市内開業医が分担し、一次救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 判断理由： 医師会の集約により市立病院と市内開業医が分担し、初期救急医療が確保されていることから、良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
	今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 各市町が負担する委託料総額のうち、砂川市負担分は空知医師会を通じ砂川部会へ交付されている。砂川部会では交付された35%を在宅当番医調整事務及び救急医療啓発事務事業等のため、再度空知医師会へ納付している。 砂川市における初期救急医療体制が確保されるとともに救急知識の普及啓発が図られることから、現状のまま事業を継続する。				R8：				R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：市負担金額	指標の求め方：市負担金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：診療日数	指標の求め方：診療日数

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 計画
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 5,076	5,076	5,124		5,076	5,076	5,076		5,124	5,076	5,076	5,076		
		実績値 5,076	5,071												
指標	成果指標 1 (単位/日)	計画値 365	365	366		365	365	365		366	365	365	365		
		実績値 365	365												
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	自己分析：	判断理由： 二次医療圏である中空知圏域において、救急医療体制が確保されていることから、良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性				現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 地域住民の医療体制の充実を図るため、事業を継続する。				R8：				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：市負担金額	指標の求め方：市負担金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：診療日数	指標の求め方：診療日数

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 合計
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 1,094	1,094	1,101		1,094	1,094	1,094		1,101	1,094	1,094	1,094		
		実績値 1,094	1,092												
指標	成果指標 1 (単位/日)	計画値 365	365	366		365	365	365		366	365	365	365		
		実績値 365	365												
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
	総合評価				良好である										
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における小児救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における小児救急医療体制の確保が図られている。	自己分析：	判断理由： 二次医療圏である中空知地域において、小児救急医療体制が確保されていることから、良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
	今後の方向性				現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 二次医療圏である中空知地域において、小児救急医療体制が確保されることから事業を継続する。				R8：				R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名: 求人関連活動数	指標の求め方: 医育大学、各専門学校等訪問回数及び求人活動数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: 採用率 (充足率)	指標の求め方: 当年度採用数/各年度予算策定時における予算人員

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	総合 計画
指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 実績値	17 3	18 14	18		18	18	18		18	18	18	18		
	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	100 100	100 100	100		100	100	100		100	100	100	100		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					あまり達成されていない										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている										
	総合評価					普通である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校訪問等は出来なかったが、オンラインでの就職説明会については、実施することができた結果、一定程度の成果が見られた。 ただし、看護師が不足している状況であることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、求人関連活動を継続して行く必要がある。	自己分析: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校訪問等は出来なかったが、オンラインでの就職説明会については、前年に引き続き実施することが出来た結果、一定程度の成果が見られた。 ただし、看護師が不足している状況が引き起こしていることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、求人関連活動を継続して行く必要がある。	自己分析:	判断理由: 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動指標は伸び悩んだが、成果指標については概ね達成することができた。オンラインでの就職説明会により、採用に繋がったケースもあり、一定程度の成果を上げることができた。また、情報共有ツールを活用した求人情報の発信による求人活動を行うなど、一定の成果があったことを踏まえ「普通である」と判断した。	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
今後の方向性					現状のまま継続											
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5: 「求人関連活動数」については、近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、医育大学及び専門学校等訪問回数が落ち込んだものの、情報共有ツール(InstagramやFaceBook)を活用した求人情報発信の強化を図った。また、職員向けにデジタルサイネージでの院内周知や市ホームページにおいても継続した求人活用を行っている。令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことに伴い、各種学校訪問回数も回復していくものと考え、コロナ禍以前の取り組みを実施していくことから、「現状のまま継続」とした。					R8:					R10:					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：修学資金貸与者数	指標の求め方：学年別の修学資金貸与者
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：砂川市立病院への就業者数	指標の求め方：修学資金貸与者の砂川市立病院への就業者数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
指標	活動指標 1 (単位/人)	計画値 実績値	25 25	25 24	26		26	25	25		25	25	25	25	
	成果指標 1 (単位/人)	計画値 実績値	21 16	24 17	27		28	26	26		26	26	26	26	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている									
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない									
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない									
	総合評価					普通である									
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 計画値に対し、就業者数の実績は届かなかったものの、助産師は概ね確保された状況。看護師については不足している状況ではあるが、卒業生の市内就職促進対策・人口減少対策の一助として有用。引き続き、看護師確保に向けて修学資金貸付制度の利用促進及び就業者数増加に向けたPRを継続していく。	自己分析： 計画値に対し、貸与者数及び就業者数の実績は届かなかったものの、前年とほぼ同水準であり、助産師は確保された。看護師については不足している状況ではあるが、卒業生の市内就職促進対策・人口減少対策の一助として有用である。引き続き看護師確保に向けて修学資金制度の利用促進及び就業者数増加に向けた取り組みを継続して行く。	自己分析：	判断理由： 修学資金貸与者数については、ほぼ計画値と同水準であり、一定程度達成することができた。特に助産師確保に繋がれたことは評価することができる。また、就業者数については、計画値を大きく下回っているが、附属看護専門学校学生への貸与者数に対する就業者は一定程度、達成することができていることを踏まえて、「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
今後の方向性					現状のまま継続										
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)	R5： 修学資金貸与制度は看護師が不足している状況において、看護師確保に向けた有用な制度である。また、修学資金免除制度による卒業生の市内就職促進対策・人口減少対策の一助になっていると考える。 令和5年度から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことに伴い、PR活動がコロナ禍以前のように回復していくものと考え、引き続き看護師確保に向けた修学資金制度の利用促進及び情報発信を実施していくことから、「現状のまま」とした。				R8：				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 査

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名	医療機械器具整備事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度									
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1-6-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	所管課係	市立病院経営企画課用度係
目的 (何のために実施するのか)	医療機器を整備することにより、市立病院が担うべき医療の質と安全を確保する。また、医師招聘やスタッフの安全確保にも繋がる。							手段 (どのような方法で実現するのか)	病院事業管理者・院長と診療科のヒアリングを引き続き実施し、財務状況も勘案しながら適切な医療機器の選定を実施する。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	患者、2次医療圏域医療機関、医師及び医療従事者							成果 (どのような効果が得られるのか)	医療機器を計画的に整備することにより、診断、治療の効率化及び患者・医療従事者の安全を図る。						
事業開始時の状況・これまでの経緯	医療ニーズに対応するため、医療機器については、新規購入及び更新の有効性及び安全性等を総合的に判断し、医療機器選定を実施してきた。高度急性期・専門医療の提供には医療機器整備は不可欠であることから継続した事業実施が求められる。														

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期総合計画		
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額	2,332,000			2,332,000				0					0	2,332,000
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額	39,687,000	21,076,000		60,763,000				0					0	60,763,000
	地方債	計画額	636,500,000	200,000,000	200,000,000	1,036,500,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	600,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	800,000,000	2,436,500,000
		予算計上額	636,500,000	757,100,000	688,200,000	2,081,800,000				0					0	2,081,800,000
		実績額	604,000,000	695,100,000		1,299,100,000				0					0	1,299,100,000
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額			0	0				0					0	0
		実績額		0		0				0					0	0
	一般財源	計画額	37,151,000			37,151,000				0					0	37,151,000
		予算計上額	37,151,000	72,216,000	54,952,000	164,319,000				0					0	164,319,000
		実績額	54,532,742	91,625,740		146,158,482				0					0	146,158,482
事業費合計	計画額	673,651,000	200,000,000	200,000,000	1,073,651,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	600,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	800,000,000	2,473,651,000	
	予算計上額	673,651,000	829,316,000	743,152,000	2,246,119,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,246,119,000	
	実績額	700,551,742	807,801,740	0	1,508,353,482	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,508,353,482	
事業費予算の内容	医療機械器具等購入費		医療機械器具等購入費	医療機械器具等購入費												
	前年度予算との比較 (増減理由)	病院改築時(H22年)購入した給食用再加熱カートの更新及び高額な医療機器更新による大幅な増額														
	実績との比較 (増減理由)	上記理由及び修理不能による医療機器の購入による増額が要因														

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：医療機器購入ヒアリング数	指標の求め方：ヒアリングの回数
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：充足率	指標の求め方：当年度購入数/予算策定時における予定数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計 画 計
指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 実績値	1 1	1 1	1 1		1 1	1 1	1 1		1 1	1 1	1 1	1 1		
	成果指標 1 (単位/%)	計画値 実績値	100 117	100 118	100		100	100	100		100	100	100	100		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている										
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている										
	総合評価					良好である										
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 計画値に対し実績が高い理由は、新型コロナウイルス感染症対策強化に伴い予算外の医療機器を緊急的に整備したことによる他、病院改築時に購入した機器が耐用年数を超え修理不能により更新したものである。今後についても安全かつ高度医療機器の整備を計画的に推し進める。	自己分析： 計画値に対し実績が高い理由は、高度医療機器の整備や血管造影X線診断装置の更新及び予算外の医療機器を緊急的に整備したことによる他、病院改築時に購入した機器が耐用年数を超え修理不能により更新したものである。今後についても安全かつ高度医療機器の整備を計画的に推し進める。	自己分析：	判断理由： 高度医療、救急医療及び特殊医療に対応しつつ、地域医療の特殊性を的確に判断し、計画的に医療機器の整備を進めている。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
今後の方向性					現状のまま継続											
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)	R5： 医療機器を整備することは、地域医療・患者サービスに直結することから、今後についても継続的な整備を計画的に進める必要がある。また、地域医療の特殊性を的確に判断し、必要な医療機器の整備を推し進めなければならないことから、継続する事業と考える。					R8：					R10：					